

平成26年度就職状況



9月30日時点での本校の就職内定者が16名(製造6名 販売2名 サービス7名 事務1名)となりました。就職試験に向けて、毎日遅くまで面接の練習や一般常識の勉強などを頑張っています。

就職内定者インタビュー

- Q. 合格と聞いた時どのような気持ちでしたか？
A. 今まで頑張ったことが報われたのでとても嬉しかったです。そして、今まで支えてくれた両親や先生方、友達に感謝の気持ちでいっぱいでした。
- Q. 就職試験に臨むまでどのような取り組みをしましたか？
A. 面接の練習は特に頑張りました。できるだけ多くの先生方に面接の練習をしてもらいました。いただいたアドバイスから自分の受け答えの改善策を見つけ、自分の納得のいくまで練習しました。
- Q. 就職試験はどうでしたか？
A. 自分の今までやってきたことを出しきることができたのでよかったです。特に面接では自分のことをしっかりアピールすることができました。
- Q. 残りの高校生活で頑張りたいことはありますか？
A. これまで無遅刻、無欠席で頑張ってきたので卒業するまで継続したいです。
- Q. どのような社会人になりたいですか？
A. 周りの誰からも信頼されるような社会人になりたいです。

熊本 みずあかり

10月11、12日に「みずあかり」が開催されます。これは市民手作りのお祭りで、約6年前から本校も三角灯籠の制作に参加しています。高校からは本校のみの参加で、和紙に思い思いの絵や言葉を描き、ユニークな灯籠が完成しました。



戴帽式に向けて

戴帽式では真新しい白衣に身を包み、看護師のシンボルである憧れのナースキャップを戴きます。ナースキャップをつけてもらった戴帽生は、キャンドルの明かりの中でナイチンゲール誓詞を朗読し、看護の道へ進む自覚と誇りを深めます。

本校では、戴帽生として戴帽式にできるためには、厳しい「戴帽試験」に合格しなければなりません。看護科の二年生はこの日のために、毎日遅くまで「戴帽試験合格」を目指して専門教科の学習を日々重ねてきました。

私が初めて看護師を目指したのは小学校5、6年生の頃だったと思います。看護師の母に憧れたのがきっかけです。中学生になってからは看護師の仕事内容などを詳しく知り、ただの憧れだけではなく看護師という職業を通して人の役に立ちたいという気持ちが芽生え、より強く看護師を目指すようになりました。そして最も短期間で看護師の資格を取ることができる熊本中央高校の看護科に入学しました。

戴帽式を目前にした今、改めて中央高校に入学でき、看護師を目指して本当によかったと思っています。看護の勉強は専門的で、恐らくこれからもさらに難しくなってくると思います。しかし、「信頼される看護師」になりたいという目標を達成できるようにこれからも頑張っていこうと思います。

いつか私が母に憧れたように私の働く姿を見て看護師を目指す人が一人でもいてくれるよう頑張っていきたいです。



2年7組 丸山敦也(西合志中出身)

戴帽試験の勉強を始めたばかりの頃、私は戴帽生という自覚がありませんでした。しかし、看護科の仲間や先生方と助け合い、協力しながら勉強を積み重ねていくうちに少しずつ自覚を始め、戴帽試験を乗り越えることができました。生徒同士では勉強が辛くてくじけそうになった時お互いに励まし合い、一緒に看護師になりたいという思いから勉強を頑張ることができました。先生方はお忙しい中、私たちのためにいろいろな対策を考えてくださってとても感謝しています。私一人の力では合格できるはずのない戴帽試験に、看護科の生徒や先生方、家族の支えがあったからこそ途中で諦めることなく試験当日を向かえ合格することができました。

昨年の先輩方の戴帽式から早一年が経ち、今年はいよいよ私たちが戴帽式に出る番です。戴帽式で先輩方のナース服姿を見た時、先輩方がたくましく見え、自分も看護師になりたいと強く思ったことを今でも覚えています。同じ舞台に立つと思うと緊張しますが、今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを伝えるためにも、戴帽式を見てよかったと感動してもらえるような素晴らしい式にしたいです。

戴帽試験や戴帽式は看護師になるための一つの通過点に過ぎませんが、その通過点を看護科の皆で乗り越えられたことを嬉しく思うと同時に、これから待ち受けている試験や困難を目の前にし、落ち込み、くじけそうになった時は、今の気持ちを思い出し、一つの夢に向かって皆で乗り越えていきたいと思っています。



2年8組 宮本春奈(西山中出身)

私は戴帽式という大事な式に出席できることを誇りに思います。熊本中央高校の看護科に入学して一年生の時から専門教科の授業が始まりました。看護の勉強は私が思っている以上に大変でした。難しい漢字や専門用語など、覚えることがたくさんあり初めは戸惑ってしまいました。しかし、毎日コツコツと勉強していくうちに勉強が楽しいと感じられるようになりました。そして戴帽試験に無事合格することができ、日々の積み重ねを大切にできて本当によかったと思っています。

私は高校一年生の時に戴帽式での堂々とされている先輩方を見て、私も先輩方のようになりたいと思いこれまで勉強を頑張ってきました。そしてその憧れの戴帽式を目の前にして、自分が参加することに緊張しています。

これまで支えてくれたたくさんの方に感謝し、素晴らしい看護師になるためこれからもたくさんの方を学んでいきたいと思っています。



2年9組 永田栞(市西原中出身)

* ナイチンゲール誓詞 *

われはここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん。
わが生涯を清く過ごし、わが任務を忠実に尽くさんことを。
われはすべて毒あるもの、害あるものを絶ち、
悪しき業を用いることなく、また知りつつこれをすすめざるべし。
われは、わが力の限りわが任務の標準を高くせんことを努むべし。
わが任務にあたりて、取り扱える人々の私事のすべて、
わが知り得たる一家の内事のすべて、われは人に洩らさざるべし。
われは心より医師を助け、わが手に託されたる人々の幸のために身を捧げん。



※ ナイチンゲール誓詞とは、クリミア戦争(1853~56)で、敵、味方の別なく傷ついた者への献身的な看護で活躍したイギリスの看護師、ナイチンゲールの偉業をたたえ、その教えを基として1893年アメリカのデトロイト市のファーランド看護学校(現在のハーバー病院付属看護学校の前身)の校長リストラ・グレッターを委員長とする委員会で「ヒポクラテスの誓い」にならって編集したものです。